

### モニター募集

## 家庭から出るもえるごみの約4割は生ごみです 生ごみ減量化器具を使ってみませんか？

市ではもえるごみの減量を積極的に進めています。特にそのほとんどが水分である生ごみの減量を推進しています。そこで、生ごみの水切り器具を使うことによるもえるごみの減量効果と、普及のための器具の使いやすさを検証するため、生ごみ水切り器具「生ごみカラット」と「しぼりっ子」のモニターを募集します。

●対象者 次の①から④（生ごみカラットについては⑤も含みます）までの要件をすべて満たしている人

- ①市内在住の人
- ②穂高総合支所まで器具を取りに来ることができる人
- ③1年間器具を使い、年に4回（3カ月ごとに1週間）自分のはかりで生ごみを計量することができる人
- ④アンケート等に回答できる人
- ⑤「生ごみカラット」の使い方説明会に参加できる人

●募集数 各器具とも25人（先着順）

●申し込み方法 11月26日（月）から12月3日（月）まで（受付時間：午前8時30分から午後5時、土日を除く）に電話でお申し込みください。氏名、住所、電話番号、希望する器具をお伝えください。

●その他 モニター協力者には期間終了後、器具を提供します。

#### モニター対象容器



**生ごみカラット**  
水切りした生ごみを風通しのよい状態で保管する容器です。生ごみが半乾燥となり、腐敗臭がしません。



**しぼりっ子**  
やわらかい材質で流しの三角コーナーとして使いながら、生ごみの水分を簡単に絞ることができます。

#### 問い合わせ・申込先

穂高総合支所内廃棄物対策課（TEL82・3131（代）FAX82・6622）

### 行政委員会新委員と明科公民館長を紹介します

任期満了に伴う教育委員、固定資産評価審査委員、明科公民館長がそれぞれ決まりました。教育委員は野本教子氏が退任し、新たに宮澤豊弘氏が選任されました。任期は平成24年11月9日から平成27年11月8日までの3年間です。



教育委員  
宮澤 豊弘

また、明科公民館長には浅見郁子氏が再任されました。任期は平成24年11月1日から平成26年10月31日までの2年間です。

### 豊科地域の線引き制度廃止に伴う市民説明会を開催

昭和46年5月から約40年わたって豊科地域の土地利用制度の基本ルールになっていた都市計画法によるいわゆる「線引き制度」が来年1月下旬をめぐりに廃止される見通しとなりました。

市では、線引き制度廃止後の新たな制度への移行について、豊科地域の皆さんを対象とした説明会を下記の4会場で行います。

●豊科総合支所内都市計画課  
TEL231111（代）FAX723569

#### ●説明会日程

開催日	場所
11月29日（木）	細萱公民館
12月 3日（月）	真々部公民館
12月 5日（水）	豊科ふれあいホール
12月11日（火）	小瀬幅公民館

※時間は午後7時から開催



市の都市計画の基本方針を記した「都市計画マスタープラン」

### 豊科近代美術館増築工事始まる

豊科近代美術館の増築工事起工式が10月23日、美術館東側の工事予定地で行われ、関係者70人が出席し工事の安全を祈願しました。今回の工事は、市文化振興計画で市の文化活動の拠点となる基幹美術館と位置付ける豊科近代美術館に、小川大系穂

高出身の彫刻作品をはじめ、現在、市の各施設で收藏する美術品などを集約し、活用するための施設を整備します。増築する建物は鉄骨2階建てで、延べ床面積約706平方メートル、「収蔵庫」「企画展示室」のほか作品運搬車の車寄せを整備します。

工事費は2億3700万円です。財源には合併特例債などを活用します。完成は平成25年8月の予定です。宮澤市長は「市の文化活動の拠点として機能充実を図り、魅力あるまちづくりを推進し、市民の交流の場としたい」とあいさつしました。



起工式であいさつをする宮澤市長